

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和02年08月28日

計画の名称	郡上市地域住宅等整備計画（郡上市地域住宅計画）												
計画の期間	平成27年度～平成31年度（5年間）								重点配分対象の該当				
交付対象	郡上市												
計画の目標	『質の高い住宅性能の確保』・・・老朽化した既存住宅について、計画的・効率的に長寿命化型改善を行い、居住環境改善やストック住宅の長期活用を実現する。（地域住宅計画） 『すべての人が安心して生活するための居住環境の整備』・・・高齢者世帯や子育て世帯など様々な世帯が安心して暮らせる住まいづくりと、UIJターン等希望者の移住・定住促進のために、公営住宅の新設と雇用促進住宅那留宿舍の取得を行い、居住環境の向上を実現する。（地域住宅計画）												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	125	A	125	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)
1	管理する住宅のうち、長寿命化改善を図った住宅棟数の割合を2%から11%にする。（地域住宅計画） 管理する住宅のうち、長寿命化を図った住宅の棟数割合 長寿命化改善を図った住宅の棟数割合＝長寿命化改善を図った住宅の棟数／管理する全住宅の棟数	2%	%	11%
2	新たに整備する公営住宅の戸数を0戸から15戸、新たに取得する単独住宅の戸数を0戸から30戸とする。（地域住宅計画） 新設により整備する公営住宅の戸数、取得により整備する単独住宅の戸数	0戸	戸	45戸

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																					
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況		
												H27	H28	H29	H30	H31					
		一体的に実施することにより期待される効果																			
		備考																			
地域住宅計画に基づ く事業	A15-001	住宅	一般	郡上市	直接	郡上市	—	—	公営住宅等ストック総合 改善事業	個別改善【長寿命化型】（徳 永団地ほか 計7団地9棟）	郡上市	■	■	■	■	■	102	—	策定済		
	A15-002	住宅	一般	郡上市	直接	郡上市	—	—	公営住宅整備事業等	公営住宅の整備（明宝・美並 地域2地域15戸）	郡上市			■	■	■	0	—	策定済		
	A15-003	住宅	一般	郡上市	直接	郡上市	—	—	地域住宅政策推進事業	雇用促進住宅那留宿舍の取得 （1棟30戸）	郡上市		■				23	—	—		
												小計						125			
												合計						125			

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

郡上市建設部都市住宅課において事後評価を実施した。

事後評価の実施時期

計画最終年度の翌年度（令和2年度）

公表の方法

郡上市ホームページへ掲載

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

長寿命化改善を実施したことにより、安全性及び耐久性が向上し、住環境の整備が図られた。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

○特記事項（今後の方針等）

引き続き郡上市公営住宅等長寿命化計画に基づき、効果的な改善事業を実施し、住宅ストックの長期的な有効活用を図る。

○目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	長寿命化改善を図った住宅の棟数割合	
	最終目標値	11%
	最終実績値	7%
2	新設又は取得により整備された戸数	
	最終目標値	45戸
	最終実績値	30戸